

設置計画の概要

事項	記入欄
設置手続きの種類	事前伺い
計画の区分	学部・学科の設置
フリガナ設置者	コリツタ'イガクホウシ'ン フクオカキョウイクダ'イガク 国立大学法人 福岡教育大学
フリガナ大学の名称	フクオカキョウイクダ'イガク 福岡教育大学 (Fukuoka University of Education)
新設学部等において養成する人材像	【環境教育課程】 環境教育コース ①環境と人間との新たな調和を生み出すために、自然・生活に関する知識・技術を生涯学習などの場で多様なレベルに加工して提供できる幅広い視野を持った人材を養成する。 ②自然科学の発展に伴い、人類は極めて豊かな生活を享受できるようになった。その反面、地球温暖化に代表されるように自然環境に対してこれまでにない悪影響を与えるに至った。このような中、自然との共存が強く叫ばれるようになったが、限りある資源のもとで持続可能な社会を築いていくためには、やはり、自然科学の力が不可欠である。環境教育コースでは、自然科学に関する知識や技術を基として、今日の自然環境問題に主体的に取り組み、解決していくことのできる人材の育成を目指している。 ③教員、環境教育指導員、環境調査コンサルタント、自然保護センター、防災センター、バイオインダストリー、地質コンサルタント、環境情報関連企業研究所・生産工場、コンピュータ関連企業、マスメディア、出版社 【芸術課程】 ①芸術活動に共通する人間性の追求と文化の伝承発展を柱に、生涯教育の視点からみた理論及び実践力を兼ね備え、多様な文化行事の企画立案能力に優れた人材を養成する。 ②1)音楽コース 音楽に関する幅広い知識や、声楽・ピアノ・管弦楽・作曲の中で各人が主体とする専門実技についての高度な技能を習得することを通して、芸術表現を実践しながら地域の音楽教育、文化の発展・振興に貢献し、その表現技能や音楽する喜びを国内外の生涯教育の場で深く広く伝え指導することができる人材を育てる。 2)美術コース 今日の課題や要請に対し、それに応えられる幅広い教養や思考能力、専門知識と技術を習得し、芸術を通じて地域文化の向上、あるいは国際交流に指導的役割を果たせる実技と理論、両面を持つ力強いアーティストとデザイナー、及び生涯学習を担う人材を育てる。 3)書美コース 書の文化に対する幅広い知識や、「漢字」「仮名」等専門各分野についての実技能力の深化を通して、書芸術の表現力を高め、その実践者として、また地域の書教育・文化への貢献者として、さらに国際理解のための交流推進者として意欲的に取り組み、書文化の次世代への継承に積極的に関わることのできる人材を育成する。 ③教員、オーケストラ団員、マスメディア、演奏家、音楽教室講師、放送局職員、音楽ホールスタッフ、イベント企画スタッフ、各種デザイナー、印刷・出版業、書作家、芸術家、生涯学習指導者
既設学部等において養成する人材像	【環境情報教育課程】 ①科学・技術と人間との新たな調和を生み出すために、自然・生活・情報に関する知識・技術を生涯学習などの場で多様なレベルに加工して提供できる幅広い視野を持った人材を養成する。 ②1)情報教育コース 現在の高度に進化し続ける情報通信技術を支えている情報理論や情報処理理論などの背景には数学が深く関わっており、情報通信の技術の理解には数学に関する知識と数学的な思考力が有効である。情報教育コースでは、数学的・論理的思考力を備え、情報に関する高度な知識や技能を持ち、中学校や高等学校における数学・情報教育や社会における様々な情報関連分野で活躍できる人材を養成する。 2)環境教育コース 自然科学の発展に伴い、人類は極めて豊かな生活を享受できるようになった。その反面、地球温暖化に代表されるように自然環境に対してこれまでにない悪影響を与えるに至った。このような中、自然との共存が強く叫ばれるようになったが、限りある資源のもとで持続可能な社会を築いていくためには、やはり、自然科学の力が不可欠である。環境教育コースでは、自然科学に関する知識や技術を基として、今日の自然環境問題に主体的に取り組み、解決していくことのできる人材の育成を目指している。 ③医療・保健衛生施設(情報処理技術者、情報システム管理者、情報処理教育担当者)、障害者支援産業(ソフト開発等)、環境産業、ソフトウェア開発企業、コンピュータ製造企業、情報サービス関連企業、金融・保険・証券会社、教員、環境教育指導員、環境調査コンサルタント、自然保護センター、防災センター、バイオインダストリー、環境情報関連企業研究所・生産工場、マスメディア、出版社 【生涯スポーツ芸術課程】 ①芸術活動やスポーツ活動に共通する人間性の追求と文化の伝承発展を柱に、生涯教育の視点からみた理論及び実践力を兼ね備え、多様な文化行事の企画立案能力に優れた人材を養成する。 ②1)音楽コース 音楽に関する幅広い知識や、声楽・ピアノ・管弦楽・作曲の中で各人が主体とする専門実技についての高度な技能を習得することを通して、芸術表現を実践しながら地域の音楽教育、文化の発展・振興に貢献し、その表現技能や音楽する喜びを国内外の生涯教育の場で深く広く伝え指導することができる人材を育てる。 2)美術コース 今日の課題や要請に対し、それに応えられる幅広い教養や思考能力、専門知識と技術を習得し、芸術を通じて地域文化の向上、あるいは国際交流に指導的役割を果たせる実技と理論、両面を持つ力強いアーティストとデザイナー、及び生涯学習を担う人材を育てる。 3)書美コース 書の文化に対する幅広い知識や、「漢字」「仮名」等専門各分野についての実技能力の深化を通して、書芸術の表現力を高め、その実践者として、また地域の書教育・文化への貢献者として、さらに国際理解のための交流推進者として意欲的に取り組み、書文化の次世代への継承に積極的に関わることのできる人材を育成する。 4)スポーツ科学コース 高度な技術指導とトレーニング指導を行えるスポーツコーチや、生涯スポーツ振興のためのスポーツ交流及びイベントの企画・運営などに携わる優れたスポーツマネジャーを養成する。 ③教員、オーケストラ団員、マスメディア、演奏家、音楽教室講師、放送局職員、音楽ホールスタッフ、イベント企画スタッフ、各種デザイナー、印刷・出版業、書作家、芸術家、生涯学習指導者、フィットネスクラブ、実業団スポーツチーム、スポーツ用品販売・企画会社

新設学部等において 取得可能な資格	【環境教育課程・芸術課程 共通】 ・社会教育主事 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、社会教育に関する科目の修得及び1年以上社会教育主事補の職にあることが必要 ・学芸員 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、博物館に関する科目が必要 ・学校図書館司書教諭 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教育職員免許状申請に必要な科目及び学校図書館司書教諭に関する科目が必要 【環境教育課程 環境教育コース】 ・中学校教諭一種(理科)・高校教諭一種(理科) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【芸術課程 音楽コース】 ・中学校教諭一種(音楽)・高校教諭一種(音楽) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【芸術課程 美術コース】 ・中学校教諭一種(美術)・高校教諭一種(美術・工芸) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【芸術課程 書美コース】 ・高校教諭一種(書道) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要
既設学部等において 取得可能な資格	【環境情報教育課程・生涯スポーツ芸術課程 共通】 ・社会教育主事 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、社会教育に関する科目の修得及び1年以上社会教育主事補の職にあることが必要 ・学芸員 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、博物館に関する科目が必要 ・学校図書館司書教諭 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教育職員免許状申請に必要な科目及び学校図書館司書教諭に関する科目が必要 【環境情報教育課程 情報教育コース】 ・中学校教諭一種(数学)・高校教諭一種(数学または情報) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【環境情報教育課程 環境教育コース】 ・中学校教諭一種(理科)・高校教諭一種(理科) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【生涯スポーツ芸術課程 音楽コース】 ・中学校教諭一種(音楽)・高校教諭一種(音楽) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【生涯スポーツ芸術課程 美術コース】 ・中学校教諭一種(美術)・高校教諭一種(美術・工芸) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【生涯スポーツ芸術課程 書美コース】 ・高校教諭一種(書道) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 【生涯スポーツ芸術課程 スポーツ科学コース】 ・中学校教諭一種(保健体育)・高校教諭一種(保健体育) ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の修得が必要 ・日本体育協会公認スポーツ指導者 ①民間資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、認定を受けている本学の共通科目及び(財)日本体育協会及び各競技団体が主催する専門科目(実技等)の講習の受講が必要

等 新 の 設 概 学 要 部	新設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設時期	専 任 教 員		
							学位又は称号			異動元		助教 以上
	教育学部 [Faculty of Education]	環境教育課程 [Program of Environment Education]	4	20	—	80	【環境教育コース】 学士(環境教育)	教育学関係	平成25年 4月	環境教育課程	10	8
計										10	8	
芸術課程 [Program of Arts]		4	27	—	108	【音楽コース】 学士(音楽) 【美術コース・書美コース】 学士(芸術)	教育学関係	平成25年 4月	芸術課程	11	9	
	計								11	9		
等 既 の 設 概 学 要 部	既設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設時期	専 任 教 員		
							学位又は称号			異動先		助教 以上
	教育学部	環境情報教育課程	4	40	—	160	【情報教育コース】 学士(情報教育) 【環境教育コース】 学士(環境教育)	教育学関係	平成21年 4月	環境教育課程	10	8
中等教育教員養成課程										6	5	
計										16	13	
生涯スポーツ芸術課程		4	55	—	220	【音楽コース】 学士(音楽) 【美術コース・書美コース】 学士(芸術) 【スポーツ科学コース】 学士(スポーツ科学)	教育学関係	平成21年 4月	芸術課程	11	9	
	中等教育教員養成課程								4	1		
	計								15	10		
【備考欄】												

教育課程等の概要（事前伺い）															
（教育学部 環境教育課程）															
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	
環境 教育 コース	専門 科目	環境と物理学	1後	2			○								兼1
		自然環境予測	2前	2			○								兼1
		分析化学	2前	2			○								兼1
		環境とエネルギー	2後	2			○			1					
		保全生物学	2後	2			○				1				
		自然災害環境	2後	2			○								兼1
		環境生物学	3前	2			○								兼1
		物理学概論	1前		2		○								兼1
		基礎生物学実験Ⅰ	1前		1				○		1				兼2 オムニバス
		基礎化学実験Ⅰ	1前		1				○	1					
		固体地球科学Ⅰ	1前		2		○								兼1
		化学概論	1前		2		○				1				
		物理学実験Ⅰ	1後		1				○						兼1
		基礎生物学Ⅰ	1後		2		○								兼1
		地学実験Ⅰ	1後		1				○	2					兼1 オムニバス
		電磁気学	2前		2		○								兼1
		遺伝学	2前		2		○								兼1
		物理学実験ⅡC	2前		1				○						兼1
		無機化学	2前		2		○			1					
		植物自然史実験	2前		1				○			1			
		基礎生物学実験Ⅱ	2前		1				○						兼2 オムニバス
		基礎生物学Ⅱ	2前		2		○								兼1
		地学実験Ⅱ	2前		1				○	1					兼1 オムニバス
		動物生態学	2前		2		○								兼1
		力学Ⅰ	2前		2		○								兼1
		集団遺伝学	2後		2		○								兼1
		解析方法論	2後		2		○			1					
		自然環境予測演習	2後		1				○		1				
		発生学実験	2後		1				○						兼1
		環境教育生物実習Ⅰ	2後		1				○			1			兼1 オムニバス
		環境と微生物	2後		2		○								兼1
		物理化学	2後		2		○								兼1
		植物生理学実験	2後		1				○						兼1
		有機化学	2後		2		○			1					
		天文地球物理学Ⅰ	1後		2		○								兼1
		基礎化学実験Ⅱ	2後		1				○	1	1				オムニバス
地球表層環境	2後		2		○								兼1		
自然構造論	3前		2		○								兼1		
発生学	3前		2		○								兼1		
生態学実験	3前		1				○						兼1		
環境有機化学実験	3前		1				○						兼1		
環境フィールド調査	3前		1				○	2					兼1 オムニバス		
環境とホルモン	3前		2		○								兼1		
環境情報処理	3前		1				○						兼2 オムニバス		
現代地学A	3前		2		○								兼1		
熱・統計力学	3前		2		○								兼1		
無機物質環境論	3前		2		○			1							
溶液分析化学	3前		2		○								兼1		
植物形態学	3前		2		○				1						
有機物質環境論	3前		2		○			1							
太陽系環境	3前		2		○								兼1		
地下資源開発と環境	3前		2		○								兼1		
九州の自然環境	3前		2		○								兼1		

教育課程等の概要（事前伺い）																
（教育学部 環境教育課程）																
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
環境 教育 コース	専門 科目	マイクロサイズの物理現象	3前		2		○			1						
		環境教育フィールド実習A	3前後		2				○							
		環境教育フィールド実習B	3前後		4				○							
		環境教育フィールド実習C	3前後		2				○							
		遺伝学実験	3後		1				○						兼1	
		進化生物学	3後		2		○								兼1	
		環境現象とシミュレーション	3後		1			○							兼1	
		環境物理化学実験	3後		1				○						兼1	
		環境教育生物実習Ⅱ	3後		1				○						兼2	
		環境の中の音と光	3後		2		○								兼1	
		現代地学B	3後		2		○								兼1	
		現代化学Ⅰ	3後		2		○								兼1	
		物質構造化学	3後		2		○				1					
		無機分析環境化学実験	3後		1				○	1						
		植物生態学	3後		2		○								兼1	
		新地学情報	3後		2		○								兼1	
		地球環境発達史	3後		2		○			1						
		地学ゼミナールA	3後		1			○		3					兼2	
		環境化学セミナー	4前		1			○		1						
		現代化学Ⅱ	4前		2		○								兼1	
		物質環境論	4前		2		○								兼1	
		核・放射線と環境	4前		2		○			1						
		地学ゼミナールB	4前		1			○		3					兼2	
		環境化学機器実験	4前		1				○						兼1	
		小計（77科目）		—	14	116	0	—			8	2				兼26 —
		合計（77科目）		—	14	116	0	—			8	2				兼26 —
学位又は称号		学士（環境教育）			学位又は学科の分野			教育学関係								

I. 設置の趣旨・必要性

福岡教育大学教育学部環境情報教育課程は、平成11年4月に総合文化科学課程を改組し、生涯教育3課程（共生社会教育課程、生涯スポーツ芸術課程、環境情報教育課程）の1つとして設置された。

環境情報教育課程は、科学・技術と人間との調和を生み出すために、自然・生活・情報に関する知識・技術を、生涯学習などの場で多様なレベルに加工して提供できる幅広い視野を持った人材を養成するために設置された。

当該課程には、情報教育コースと環境教育コースの2つのコースが設置され、情報教育コースでは数学・情報教育や社会における様々な情報関連分野で活躍できる人材、環境教育コースでは自然環境問題に主体的に取り組み、解決できる人材、自然科学を環境の視点で捉えることのできる人材の養成を行ってきた。

しかし、そのうち、情報教育コースにおいて、近年、その入学者の卒業後の進路希望、卒業時の教員志願率をみると、その多くが教員志望という状況になってきている。

一方、本学の卒業生の多くが採用されている福岡県、福岡市、北九州市では、今後、公立学校教員の大量退職に伴い、教員需給が急増する見込みがあり、それぞれの教育委員会から、本学にその需要に応えるよう要請が来ており、また、近年、情報関係の大学、学部の設置も行われている状況もある。

そのようなことから、本学としては、情報教育コースについては廃止し、当該課程を「環境教育課程」と名称を変更し、当該コースの定員を、本学の教員養成課程である学校教育課程に振り分け、今後、教員需給に寄与したいと考えている。

II. 教育課程編成の考え方・特色

当該課程の教育課程は、環境教育コースがそのまま残ることから、「自然科学の発展に伴い、人類は極めて豊かな生活を享受できるようになりました。その反面、地球環境温暖化に代表されるように、自然環境に対してこれまでにない悪影響を与えるに至りました。このような中、自然科学との共存が強く叫ばれるようになりましたが、限りある資源のもとで持続可能な社会を築いていくためには、やはり自然科学の力が不可欠です。本コースでは自然科学に関する知識や技術を基として、今日の自然環境問題に主体的に取り組み、解決できる人材の育成を目指します。また、自然科学を環境の視点で捉えることのできる教員・環境教育指導者の育成を目標にしています。」という、コースの養成する人材像（アドミッション・ポリシー）に基づき、従前どおりの教育課程の編成を行う。

入学定員の変更

(改組前)		(改組後)	
初等教育教員養成課程	入学定員 300人	⇒ 初等教育教員養成課程	入学定員 331人
中等教育教員養成課程	入学定員 130人	⇒ 中等教育教員養成課程	入学定員 147人
特別支援教育教員養成課程	入学定員 50人	⇒ 特別支援教育教員養成課程	入学定員 50人
共生社会教育課程	入学定員 55人	⇒ 共生社会教育課程	入学定員 55人
環境情報教育課程	入学定員 40人	⇒ 環境教育課程	入学定員 20人
生涯スポーツ芸術課程	入学定員 55人	⇒ 芸術課程	入学定員 27人
(計) 630人		(計) 630人	

設置の趣旨・必要性		
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	1 5 週
【卒業要件】 以下の区分に基づき、128単位以上修得すること。 (年間登録単位の上限：42単位) 【履修方法】 ○教養科目：「フレッシュマンセミナーA」を含めて18単位修得すること。 ○外国語科目：英語、ドイツ語、フランス語、ハングル、日本語（留学生対象）から6単位修得すること。 ○保健体育科目：「健康スポーツ科学実習Ⅰ、Ⅱ」（各1単位）及び「ウェルネス論」（2単位）計4単位修得すること。 ○生涯教育科目：生涯教育科目2科目4単位以上修得すること。 ○課程共通科目：課程共通科目1科目2単位以上修得すること。 ○コース専門科目 ①音楽コース：必修7科目14単位、選択54単位以上修得すること。 ②美術コース：必修12科目24単位、選択44単位以上修得すること。 ③書美コース：必修13科目26単位、選択42単位以上修得すること。 ○自由選択単位：21単位以上修得すること。 ○卒業研究：必修5単位。	1 時限の授業時間	9 0 分

教 育 課 程 等 の 概 要 (事 前 伺 い)																
(教育学部 芸術課程)																
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
音楽 コース	専 門 科 目	声楽基礎演習A	1前		2			○							兼1	隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 オムニバス
		声楽基礎演習B	1後		2			○							兼1	
		声楽表現演習A	1前		2			○		1						
		声楽表現演習B	1後		2			○		1						
		声楽特殊研究Ⅰ	2前		2			○							兼1	
		声楽特殊研究Ⅱ	2後		2			○							兼1	
		声楽特殊研究Ⅲ	3前		2			○		1						
		声楽特殊研究Ⅳ	3後		2			○		1						
		ソルフェージュ	1前	2			○								兼1	
		声楽アンサンブル・舞台発声法A	2後		2			○							兼1	
		声楽アンサンブル・舞台発声法B	2後		2			○							兼1	
		オペラアンサンブルA	3前		2			○		1						
		オペラアンサンブルB	3前		2			○		1						
		合唱	3後	2				○							兼1	
		伝統声楽	3前		1			○							兼2	
		ピアノⅠ	1前		2			○			1					
		ピアノⅡ	1後		2			○			1					
		ピアノ技巧演習A	2前		2			○			1					
		ピアノ技巧演習B	2後		2			○							兼1	
		ピアノ技巧演習C	3前		2			○							兼1	
		ピアノ表現演習A	2前		2			○		1						
		ピアノ表現演習B	2後		2			○		1						
		ピアノ表現演習C	3前		2			○		1						
		ピアノ技巧論	3後		2			○							兼1	
		ピアノ表現論	3後		2			○		1						
		管弦楽器Ⅰ	1前		2				○						兼1	
		管弦楽器Ⅱ	1後		2				○						兼1	
		管弦楽器技巧演習	2前		2				○						兼1	
		管弦楽器表現演習	2後		2				○						兼1	
		管弦楽器技巧論	3前		2			○							兼1	
		管弦楽器表現論	3後		2			○							兼1	
		器楽アンサンブルⅠ	3前		2				○		1				兼1	
		器楽アンサンブルⅡ	3後		2				○						兼1	
		オーケストラ入門A	1前		1				○						兼1	
		オーケストラ入門B	1前		1				○						兼1	
		オーケストラA	3前		1				○						兼1	
		オーケストラB	3前		1				○						兼1	
		伴奏法	3前		2			○			1					
		邦楽器	3後		1				○						兼1	
		指揮法	2後		2			○							兼1	
		音楽理論基礎	1前	2				○							兼1	
		和声学Ⅰ	1後	2				○		1						
		和声学Ⅱ	2前	2				○		1						
		作曲法Ⅰ	2後		2			○		1						
		作曲法Ⅱ	3前		2			○		1						
		作曲基礎技法Ⅰ	1前		2			○		1						
作曲基礎技法Ⅱ	1後		2			○		1								
作曲基礎技法Ⅲ	2前		2			○		1								
作曲技法研究	3後		2			○		1								
編曲法	3後		2			○		1								
楽式論	2前		2			○							兼1			
西洋音楽史	1後	2				○							兼1			
西洋音楽史詳論	2後	2				○							兼1			
日本東洋音楽史Ⅰ	2前		2			○							兼1			
日本東洋音楽史Ⅱ	2後		2			○							兼1			
音楽史特殊研究A	3前		2				○						兼1			
音楽史特殊研究B	3前		2				○						兼1			
楽曲研究	3前		2				○						兼1			
マルチメディア	3前		2				○		1							
音楽研究論	3後		2			○							兼2			

教育課程等の概要（事前伺い）															
（教育学部 芸術課程）															
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
音楽 コース	専門 科目	近現代音楽論	3後		2		○			1					兼1 オムニバス
		演奏学ゼミ	4前		2			○		3	1				兼3
		インターンシップA	3前後		2				○						
		小計（63科目）	—	14	106	0	—			3	1				兼9 —
		合計（63科目）	—	14	106	0	—			3	1				兼9 —
美術 コース	専門 科目	絵画基礎A（デッサン）	1前	2				○				1			兼1
		絵画基礎B（水彩）	1後	2				○							※講義
		油彩画A（静物）	2後		3			○				1			※講義
		油彩画B（人物）	3前		3			○				1			※講義
		日本画	3後		3			○							兼2 オムニバス ※講義
		水彩画	4前		3			○							兼1 ※講義
		版画A	3前		3			○							兼1 ※講義
		彫刻基礎A（デッサン）	1前	2				○			1				
		彫刻基礎B（塑像）	1後	2				○							兼1
		木彫	2後		3			○			1				※講義
		石彫	3前		3			○							兼1 ※講義
		素材彫刻	3後		3			○							兼1 ※講義
		人体習作	4前		3			○							兼1 ※講義
		構成デザイン基礎A（平面）	1後	2				○							兼1
		構成デザイン基礎B（立体）	2前	2				○		1					
		構成デザイン理論	1前		2		○			1					兼1
		色彩学	1前		2		○								
		立体表示	1後		2			○		1					
		環境造形	3前		3			○							兼1 ※講義
		ビジュアルデザイン	2後		3			○							兼2 オムニバス ※講義
		プロダクトデザイン	3後		3			○							兼2 オムニバス ※講義
		工芸基礎B（金工）	2前	2				○		1					
		工芸理論	3後		2		○			1					
		窯芸	2後		3			○							兼1 ※講義
		金工	3前		3			○		1					※講義
		木材工芸	3後		3			○							兼1 ※講義
		染織工芸	3前		3			○							兼1 ※講義
		日本美術史	1前	2			○								兼1
		西洋美術史	1後	2			○								兼1
		古美術研究	2前		3		○					1			兼1 オムニバス ※演習
		美術理論	3後	2			○								兼1
		メディア&アートマネジメント	3前		2		○								兼1 隔年開講
		表装演習	3前		1			○							兼2 オムニバス
		美術課題研究Ⅰ	3後	2				○		2	1	1			兼4
		美術課題研究Ⅱ	4前	2				○		2	1	1			兼4
		インターンシップA	3前後		2				○						
		インターンシップB	3前後		4				○						
		インターンシップC	3前後		2				○						
		版画B	3後		2			○							兼1 隔年開講 ※講義
		工芸基礎A（窯芸）	2前		2			○							兼1
		篆・隷書法	2前		2				○						兼1 ※講義
		篆刻研究	2後		2			○							兼1
		墨彩	3後		2			○							兼2 隔年開講、オムニバス
		工芸書	3前		2			○							兼1 隔年開講
		文字学	3前		2		○								兼1 隔年開講
		書美をさぐる	2後		2		○								兼1 隔年開講
		小計（46科目）	—	24	86	0	—			2	1	1			兼26 —
		合計（46科目）	—	24	86	0	—			2	1	1			兼26 —
書美 コース	専門 科目	書の美A	1前	2					○	1					※講義
		書の美B	1後	2					○		1				※講義
		篆・隷書法	2前	2					○	1					※講義
		書道特別研究A	2前	2					○						兼1 ※講義
		書道史Ⅰ	2前	2			○				1				
		書道特別研究B	2後	2					○						兼1 ※講義
		篆刻研究	2後	2				○		1					
		創作研究	3前	2					○	1	1				兼1
		書式研究	3後	2				○		1					兼1 オムニバス ※講義

教育課程等の概要（事前伺い）																
（教育学部 芸術課程）																
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
書美 コース	専 門 科 目	書論・鑑賞	3後	2			○								兼1	
		生涯学習と書	3後	2				○		1						
		書美特演	3後	2				○		1	1					
		書制作	4前	2				○		1	1				オムニバス	
		書作実践研究B	1後		1				○						兼1	
		書道学外演習A	1・2後		2			○							兼2 隔年開講	
		書表現と鑑賞	2・3前		2			○							兼1 隔年開講	
		古筆研究	2・3前		2			○			1				隔年開講	
		書美をさぐる	2・3後		2		○								兼1 隔年開講	
		篆・隸書演習	2・3後		2			○							兼1 隔年開講	
		行・草書演習	3・4前		2			○							兼1 隔年開講	
		工芸書	3・4前		2			○							兼1 隔年開講	
		書学講義	3・4前		2			○							兼1 隔年開講	
		文字学	3・4前		2			○							兼1 隔年開講	
		表装演習	3前		1			○			1				兼1 オムニバス	
		書道文房概論	3・4後		2			○							兼1 隔年開講	
		墨彩	3・4後		2			○							兼2 隔年開講・オムニバス	
		書道史Ⅱ	3・4後		2			○							兼1 隔年開講	
		近現代の書	3・4後		2			○							兼1 隔年開講	
		インターンシップA	3前後		2				○							
		インターンシップB	3前後		4				○							
		楷書法	1前		2				○						兼1 ※講義	
		仮名書法	1前		2				○		1				※講義	
		行・草書法	1後		2				○						兼1 ※講義	
		漢字仮名交じり書法	2後		2				○		1					
		書作実践研究A	1前		1				○						兼1	
		書道学外演習B	1・2前		2				○		1				兼1 隔年開講	
		国文学概論	1前		2			○							兼1	
		国文学史	2後		2			○							兼1	
		中国古典学講義A	3前		2			○							兼1	
		中国古典学講義B	3後		2			○							兼1	
		古典文学講読	1後		2			○							兼1	
		近代文学概論	1前		2			○			1					
		中国古典学概論	1後		2			○							兼1	
		中国近代文学講義	1後		2			○							兼1	
		構成デザイン理論	1前		2			○							兼1	
		色彩学	1前		2			○							兼1	
		日本美術史	1前		2			○							兼1	
		西洋美術史	1後		2			○							兼1	
		メディア&アートマネジメント	3・4前		2			○							兼1 隔年開講	
		美術理論	3後		2			○							兼1	
		工芸理論	3後		2			○							兼1	
		小計（51科目）			—	26	75	0	—			2	1			兼29 —
		合計（51科目）			—	26	75	0	—			2	1			兼29 —
学位又は称号		学士(音楽)、学士(芸術)			学位又は学科の分野			教育学関係								

I. 設置の趣旨・必要性

福岡教育大学教育学部生涯スポーツ芸術課程は、平成11年4月に総合文化科学課程を改組し、生涯教育3課程（共生社会教育課程、生涯スポーツ芸術課程、環境情報教育課程）の1つとして設置された。

生涯スポーツ芸術課程は、芸術活動やスポーツ活動に共通する人間性の追求と文化の発展を柱に、生涯教育の視点からみた理論及び実践力を兼ね備え、多様な文化行事の企画・立案能力に優れた人を養成するために設置された。

当該課程には、音楽コース、美術コース、書美コース、スポーツ科学コースの4つのコースが設置され、音楽コースでは表現技能や音楽する喜びを国内外の生涯教育の場で深く広く伝え指導できる人材、美術コースでは芸術活動を通じて、地域文化の向上、国際交流に指導的役割を果たせる実技と理論、両面をもつアーティストとデザイナー、生涯学習を担う人材、書美コースでは、書文化の次世代への継承に積極的に関わることのできる人材、スポーツ科学コースでは、スポーツコーチ、生涯スポーツの振興に携わるスポーツマネージャーの養成を行ってきた。

しかし、そのうち、スポーツ科学コースにおいて、近年、その入学者の卒業後の進路希望、卒業時の教員志願率をみると、その多くが教員志望という状況になってきている。

一方、本学の卒業生の多くが採用されている福岡県、福岡市、北九州市では、今後、公立学校教員の大量退職に伴い、教員需給が急増する見込みがあり、それぞれの教育委員会から、本学にその需要に応えるよう要請が来ている。

そのようなことから、本学としては、スポーツ科学コースについては廃止し、当該課程を「芸術課程」と名称を変更し、当該コースの定員を、本学の教員養成課程である学校教育課程に振り分け、今後、教員需給に寄与したいと考えている。

II. 教育課程編成の考え方・特色

当該課程の教育課程は、従前のコースがそのまま残ることから、音楽コースは「音楽に関する幅広い知識や声楽、ピアノ、管弦楽、作曲の中で各人が主とする専門実技についての高度な技能を習得することを通して芸術表現を実践しながら地域の音楽教育、文化の発展・振興に貢献し、その表現技能や音楽する喜びを国内外の生涯教育の場で深く広く伝え指導することのできる人材を育てることを目標にしています。」という養成する人材像（アドミッション・ポリシー）、美術コースでは「今日の課題や要請に対しそれに応えられる幅広い教養や思考能力、専門知識と技術を習得し、芸術を通じて地域文化の向上、あるいは国際交流に指導的役割を果たせる実技と理論、両面を持つ力強いアーティストとデザイナー、及び生涯学習を担う人材を育てることを目標にしています。」という養成する人材像（アドミッション・ポリシー）、書美コースでは「書の文化に対する幅広い知識や、「漢字」「仮名」等の専門分野についての実技能力の深化を通じて、書芸術の表現力を高め、その実践者として、また地域の書教育・文化への貢献者として、さらに国際理解のための交流推進者として意欲的に取り組み、書文化の次世代への継承に積極的に関わることのできる人材の育成を目標にしています。」という養成する人材像（アドミッション・ポリシー）にそれぞれ基づき、従前どおりの教育課程が編成される。

入学定員の変更

(改組前)

初等教育教員養成課程
中等教育教員養成課程
特別支援教育教員養成課程
共生社会教育課程
環境情報教育課程
生涯スポーツ芸術課程

入学定員 300人
入学定員 130人
入学定員 50人
入学定員 55人
入学定員 40人
入学定員 55人

(改組後)

初等教育教員養成課程 入学定員 331人
中等教育教員養成課程 入学定員 147人
特別支援教育教員養成課程 入学定員 50人
共生社会教育課程 入学定員 55人
環境教育課程 入学定員 20人
芸術課程 入学定員 27人

設置の趣旨・必要性		
卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

【卒業要件】

以下の区分に基づき、128単位以上修得すること。
(年間登録単位の上限：42単位)

【履修方法】

○教養科目：「フレッシュマンセミナーA」を含めて18単位修得すること。

○外国語科目：英語、ドイツ語、フランス語、ハングル、
日本語（留学生対象）から6単位修得すること。

○保健体育科目：「健康スポーツ科学実習Ⅰ、Ⅱ」（各1単位）及び
「ウェルネス論」（2単位）計4単位修得すること。

○生涯教育科目：生涯教育科目2科目4単位以上修得すること。

○課程共通科目：課程共通科目1科目2単位以上修得すること。

○コース専門：必修7科目14単位、選択科目50単位以上修得すること。

○自由選択単位：25単位以上修得すること。

○卒業研究：必修5単位。

教育課程等の概要（事前伺い）																
（教育学部 環境情報教育課程）																
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
情報教育コース	専門科目	計算機科学	1前	2				○		1					兼1	※実習
		数と集合	1前	2				○							兼1	
		線形数学概論	1前	2				○							兼1	
		微分積分学概論	1前	2				○							兼1	
		計算機システム	1後	2			○			1						※実習
		線形数学Ⅰ	1後	2				○							兼1	
		微分積分学Ⅰ	1後	2				○							兼1	
		情報システム	2前	3			○								兼1	
		線形数学Ⅱ	2前	2				○							兼1	※実習
		微分積分学Ⅱ	2前	2				○							兼1	
		アルゴリズムと離散構造	2後	3			○			1						
		コンピュータアーキテクチャ	2後	2			○			1						
		ネットワーク概論	3前	2			○			1						※実習
		代数学	2後		2			○							兼1	
		幾何学	2後		2			○			1					
		解析学	2後		2			○							兼1	
		データベース	3前	3		3		○							兼1	※実習
		情報理論	3前	2		2		○							兼1	
		情報と職業	3前	2		2		○							兼1	
		情報処理A	3前	2		2		○							兼1	
		情報処理B	3前	2		2		○							兼1	隔年開講 隔年開講
		代数学A	3前	2		2		○			1					
		幾何学A	3前	2		2		○				1				
		解析学A	3前	2		2		○							兼1	
		コンピュータ	3前	2		2			○						兼1	※実習
		マルチメディア表現	3後	3		3		○							兼1	
		グラフとネットワーク	3後	2		2		○							兼1	
		統計システム	3後	2		2		○							兼1	
		情報社会と情報倫理	3後	2		2		○							兼1	隔年開講 隔年開講
		セミナーA	3後	2		2		○			5	1			兼8	
		特別実習	3前後	2		2				○						
		セミナーB	4前	2		2			○		5	1			兼8	
		ネットワークプログラミング	4前	2		2			○						兼1	隔年開講 隔年開講
		集合と位相	1後	2		2		○				1				
		位相空間論	2前	2		2		○				1				
		確率・統計	2後	2		2			○		1					
		統計科学	3前	2		2		○				1				隔年開講 隔年開講
		代数学B	3後	2		2		○							兼1	
		幾何学B	3後	2		2		○							兼1	
		解析学B	3後	2		2		○							兼1	
		代数学特論	4前	2		2		○							兼1	隔年開講 隔年開講
		幾何学特論	4前	2		2		○			1					
		解析学特論	4前	2		2		○							兼1	
小計（43科目）			—	28	62	0	—			5	1			兼25	—	
合計（43科目）			—	28	62	0	—			5	1			兼25	—	
環境教育コース	専門科目	環境と物理学	1後	2			○								兼1	隔年開講 隔年開講
		自然環境予測	2前	2			○								兼1	
		分析化学	2前	2			○								兼1	
		環境とエネルギー	2後	2			○			1						
		保全生物学	2後	2			○				1					隔年開講 隔年開講
		自然災害環境	2後	2			○								兼1	
		環境生物学	3前	2			○								兼1	
		物理学概論	1前		2		○								兼1	
		基礎生物学実験Ⅰ	1前		1				○			1			兼2	オムニバス
		基礎化学実験Ⅰ	1前		1				○	1						
		固体地球科学Ⅰ	1前		2		○								兼1	
		化学概論	1前		2		○				1					
		物理学実験Ⅰ	1後		1				○						兼1	隔年開講 隔年開講
		基礎生物学Ⅰ	1後		2		○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要 （ 事 前 伺 い ）																	
（教育学部 環境情報教育課程）																	
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
環境教育コース	専門科目	地学実験Ⅰ	1後		1				○	2					兼1	オムニバス	
		電磁気学	2前		2			○							兼1		
		遺伝学	2前		2			○							兼1		
		物理学実験ⅡC	2前		1					○					兼1		
		無機化学	2前		2			○			1						
		植物自然史実験	2前		1					○		1					
		基礎生物学実験Ⅱ	2前		1					○					兼2	オムニバス	
		基礎生物学Ⅱ	2前		2			○							兼1		
		地学実験Ⅱ	2前		1					○	1				兼1	オムニバス	
		動物生態学	2前		2			○							兼1		
		力学Ⅰ	2前		2			○							兼1		
		集団遺伝学	2後		2			○							兼1		
		解析方法論	2後		2			○			1						
		自然環境予測演習	2後		1				○		1						
		発生学実験	2後		1					○					兼1		
		環境教育生物実習Ⅰ	2後		1					○		1			兼1	オムニバス	
		環境と微生物	2後		2			○							兼1		
		物理化学	2後		2			○							兼1		
		植物生理学実験	2後		1					○					兼1		
		有機化学	2後		2			○			1						
		天文地球物理学Ⅰ	1後		2			○							兼1		
		基礎化学実験Ⅱ	2後		1					○	1	1				兼1	オムニバス
		地球表層環境	2後		2			○							兼1		
		自然構造論	3前		2			○							兼1		
		発生学	3前		2			○							兼1		
		生態学実験	3前		1					○					兼1		
		環境有機化学実験	3前		1					○					兼1		
		環境フィールド調査	3前		1					○	2				兼1	オムニバス	
		環境とホルモン	3前		2			○							兼1		
		環境情報処理	3前		1					○					兼2	オムニバス	
		現代地学A	3前		2			○							兼1		
		熱・統計力学	3前		2			○							兼1		
		無機物質環境論	3前		2			○			1						
		溶液分析化学	3前		2			○							兼1		
		植物形態学	3前		2			○				1					
		有機物質環境論	3前		2			○			1						
		太陽系環境	3前		2			○							兼1		
		地下資源開発と環境	3前		2			○							兼1		
		九州の自然環境	3前		2			○							兼1		
		マイクロサイズの物理現象	3前		2			○			1						
		環境教育フィールド実習A	3前後		2					○							
		環境教育フィールド実習B	3前後		4					○							
環境教育フィールド実習C	3前後		2					○									
遺伝学実験	3後		1					○					兼1				
進化生物学	3後		2			○							兼1				
環境現象とシミュレーション	3後		1				○						兼1				
環境物理化学実験	3後		1					○					兼1				
環境教育生物実習Ⅱ	3後		1					○					兼2	オムニバス			
環境の中の音と光	3後		2			○							兼1				
現代地学B	3後		2			○							兼1				
現代化学Ⅰ	3後		2			○							兼1				
物質構造化学	3後		2			○				1							
無機分析環境化学実験	3後		1					○	1								
植物生態学	3後		2			○							兼1				
新地学情報	3後		2			○							兼1				
地球環境発達史	3後		2			○			1								
地学ゼミナールA	3後		1				○		3				兼2				
環境化学セミナー	4前		1				○		1								
現代化学Ⅱ	4前		2			○							兼1				
物質環境論	4前		2			○							兼1				
核・放射線と環境	4前		2			○			1								

教育課程等の概要（事前伺い）																
（教育学部 環境情報教育課程）																
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
環境 教育 コース	専門 科目	地学ゼミナールB	4前		1			○		3					兼2	
		環境化学機器実験	4前		1				○						兼1	
		小計（77科目）	—	14	116	0	—			8	2				兼26	—
		合計（77科目）	—	14	116	0	—			8	2				兼26	—
学位又は称号		学士（情報教育）、学士（環境教育）			学位又は学科の分野				教育学関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(教育学部 生涯スポーツ芸術課程)

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手			
音楽 コース	専門 科目	声楽基礎演習 A	1前		2			○								兼1	隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 オムニバス
		声楽基礎演習 B	1後		2			○								兼1	
		声楽表現演習 A	1前		2			○		1							
		声楽表現演習 B	1後		2			○		1							
		声楽特殊研究Ⅰ	2前		2			○								兼1	
		声楽特殊研究Ⅱ	2後		2			○								兼1	
		声楽特殊研究Ⅲ	3前		2			○		1							
		声楽特殊研究Ⅳ	3後		2			○		1							
		ソルフェージュ	1前	2			○									兼1	
		声楽アンサンブル・舞台発声法 A	2後		2			○								兼1	
		声楽アンサンブル・舞台発声法 B	2後		2			○								兼1	
		オペラアンサンブル A	3前		2			○		1							
		オペラアンサンブル B	3前		2			○		1							
		合唱	3後	2				○								兼1	
		伝統声楽	3前		1			○								兼2	
		ピアノⅠ	1前		2			○			1						
		ピアノⅡ	1後		2			○			1						
		ピアノ技巧演習 A	2前		2			○			1						
		ピアノ技巧演習 B	2後		2			○								兼1	
		ピアノ技巧演習 C	3前		2			○								兼1	
		ピアノ表現演習 A	2前		2			○		1							
		ピアノ表現演習 B	2後		2			○		1							
		ピアノ表現演習 C	3前		2			○		1							
		ピアノ技巧論	3後		2			○								兼1	
		ピアノ表現論	3後		2			○		1							
		管弦楽器Ⅰ	1前		2				○							兼1	
		管弦楽器Ⅱ	1後		2				○							兼1	
		管弦楽器技巧演習	2前		2				○							兼1	
		管弦楽器表現演習	2後		2				○							兼1	
		管弦楽器技巧論	3前		2			○								兼1	
		管弦楽器表現論	3後		2			○								兼1	
		器楽アンサンブルⅠ	3前		2				○		1					兼1	
		器楽アンサンブルⅡ	3後		2				○							兼1	
		オーケストラ入門 A	1前		1				○							兼1	
		オーケストラ入門 B	1前		1				○							兼1	
		オーケストラ A	3前		1				○							兼1	
		オーケストラ B	3前		1				○							兼1	
		伴奏法	3前		2			○			1						
		邦楽器	3後		1				○							兼1	
		指揮法	2後		2			○								兼1	
音楽理論基礎	1前	2				○								兼1			
和声学Ⅰ	1後	2				○		1									
和声学Ⅱ	2前	2				○		1									
作曲法Ⅰ	2後		2			○		1									
作曲法Ⅱ	3前		2			○		1									
作曲基礎技法Ⅰ	1前		2			○		1									
作曲基礎技法Ⅱ	1後		2			○		1									
作曲基礎技法Ⅲ	2前		2			○		1									
作曲技法研究	3後		2			○		1									
編曲法	3後		2			○		1									
楽式論	2前		2			○								兼1			
西洋音楽史	1後	2				○								兼1			
西洋音楽史詳論	2後	2				○								兼1			
日本東洋音楽史Ⅰ	2前		2			○								兼1			
日本東洋音楽史Ⅱ	2後		2			○								兼1			
音楽史特殊研究 A	3前		2				○							兼1			
音楽史特殊研究 B	3前		2				○							兼1			
楽曲研究	3前		2				○							兼1			
マルチメディア	3前		2				○		1								
音楽研究論	3後		2			○								兼2			

教育課程等の概要（事前伺い）																
（教育学部 生涯スポーツ芸術課程）																
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
音楽 コース	専門 科目	近現代音楽論	3後		2		○			1					兼1	オムニバス
		演奏学ゼミ	4前		2			○		3	1				兼3	
		インターンシップA	3前後		2				○							
		小計（63科目）	—	14	106	0	—			3	1				兼9	—
合計（63科目）			—	14	106	0	—			3	1				兼9	—
美術 コース	専門 科目	絵画基礎A（デッサン）	1前	2				○				1			兼1	
		絵画基礎B（水彩）	1後	2				○								※講義
		油彩画A（静物）	2後		3			○				1				※講義
		油彩画B（人物）	3前		3			○				1				※講義
		日本画	3後		3			○							兼2	オムニバス ※講義
		水彩画	4前		3			○							兼1	※講義
		版画A	3前		3			○							兼1	※講義
		彫刻基礎A（デッサン）	1前	2				○			1					
		彫刻基礎B（塑像）	1後	2				○							兼1	
		木彫	2後		3			○			1					※講義
		石彫	3前		3			○							兼1	※講義
		素材彫刻	3後		3			○							兼1	※講義
		人体習作	4前		3			○							兼1	※講義
		構成デザイン基礎A（平面）	1後	2				○							兼1	
		構成デザイン基礎B（立体）	2前	2				○		1						
		構成デザイン理論	1前		2		○			1						
		色彩学	1前		2		○								兼1	
		立体表示	1後		2			○		1						
		環境造形	3前		3			○							兼1	※講義
		ビジュアルデザイン	2後		3			○							兼2	オムニバス ※講義
		プロダクトデザイン	3後		3			○							兼2	オムニバス ※講義
		工芸基礎B（金工）	2前	2				○		1						
		工芸理論	3後		2		○			1						
		窯芸	2後		3			○							兼1	※講義
		金工	3前		3			○		1						※講義
		木材工芸	3後		3			○							兼1	※講義
		染織工芸	3前		3			○							兼1	※講義
		日本美術史	1前	2			○								兼1	
		西洋美術史	1後	2			○								兼1	
		古美術研究	2前		3		○					1			兼1	オムニバス ※演習
		美術理論	3後	2			○								兼1	
		メディア&アートマネジメント	3前		2		○								兼1	隔年開講
		表装演習	3前		1			○							兼2	オムニバス
		美術課題研究Ⅰ	3後	2				○		2	1	1			兼4	
		美術課題研究Ⅱ	4前	2				○		2	1	1			兼4	
		インターンシップA	3前後		2				○							
		インターンシップB	3前後		4				○							
		インターンシップC	3前後		2				○							
		版画B	3後		2			○							兼1	隔年開講 ※講義
		工芸基礎A（窯芸）	2前		2			○							兼1	
		篆・隷書法	2前		2				○						兼1	※講義
		篆刻研究	2後		2			○							兼1	
		墨彩	3後		2			○							兼2	隔年開講、オムニバス
		工芸書	3前		2			○							兼1	隔年開講
		文字学	3前		2		○								兼1	隔年開講
		書美をさぐる	2後		2		○								兼1	隔年開講
小計（46科目）			—	24	86	0	—			2	1	1			兼26	—
合計（46科目）			—	24	86	0	—			2	1	1			兼26	—
書美 コース	専門 科目	書の美A	1前	2					○	1						※講義
		書の美B	1後	2					○		1					※講義
		篆・隷書法	2前	2					○	1						※講義
		書道特別研究A	2前	2					○						兼1	※講義
		書道史Ⅰ	2前	2			○				1					
		書道特別研究B	2後	2					○						兼1	※講義
		篆刻研究	2後	2				○		1						
		創作研究	3前	2					○	1	1				兼1	オムニバス ※講義
書式研究	3後	2				○		1								

教育課程等の概要（事前伺い）															
（教育学部 生涯スポーツ芸術課程）															
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
書美 コース	専 門 科 目	書論・鑑賞	3後	2			○								兼1
		生涯学習と書	3後	2				○		1					
		書美特演	3後	2				○		1	1				
		書制作	4前	2				○		1	1				オムニバス
		書作実践研究B	1後		1				○						兼1
		書道学外演習A	1・2後		2			○							兼2 隔年開講
		書表現と鑑賞	2・3前		2			○							兼1 隔年開講
		古筆研究	2・3前		2			○			1				兼1 隔年開講
		書美をさぐる	2・3後		2		○								兼1 隔年開講
		篆・隸書演習	2・3後		2			○							兼1 隔年開講
		行・草書演習	3・4前		2			○							兼1 隔年開講
		工芸書	3・4前		2			○							兼1 隔年開講
		書学講義	3・4前		2		○								兼1 隔年開講
		文字学	3・4前		2		○								兼1 隔年開講
		表装演習	3前		1			○			1				兼1 オムニバス
		書道文房概論	3・4後		2		○								兼1 隔年開講
		墨彩	3・4後		2			○							兼2 隔年開講・オムニバス
		書道史Ⅱ	3・4後		2		○								兼1 隔年開講
		近現代の書	3・4後		2		○								兼1 隔年開講
		インターンシップA	3前後		2				○						
		インターンシップB	3前後		4				○						
		楷書法	1前		2				○						兼1 ※講義
		仮名書法	1前		2				○		1				※講義
		行・草書法	1後		2				○						兼1 ※講義
		漢字仮名交じり書法	2後		2			○			1				
		書作実践研究A	1前		1				○						兼1
		書道学外演習B	1・2前		2			○			1				兼1 隔年開講
		国文学概論	1前		2		○								兼1
		国文学史	2後		2		○								兼1
		中国古典学講義A	3前		2		○								兼1
		中国古典学講義B	3後		2		○								兼1
		古典文学講読	1後		2		○								兼1
		近代文学概論	1前		2		○			1					
		中国古典学概論	1後		2		○								兼1
		中国近代文学講義	1後		2		○								兼1
		構成デザイン理論	1前		2		○								兼1
		色彩学	1前		2		○								兼1
		日本美術史	1前		2		○								兼1
		西洋美術史	1後		2		○								兼1
		メディア&アートマネジメント	3・4前		2		○								兼1 隔年開講
		美術理論	3後		2		○								兼1
		工芸理論	3後		2		○								兼1
		小計（51科目）	—	26	75	0	—	—	—	2	1				兼29 —
		合計（51科目）	—	26	75	0	—	—	—	2	1				兼29 —
スポ ーツ 科 学 コ ー ス	専 門 科 目	競技（水泳）	1前		1				○						兼1
		競技（陸上競技）	2前		1				○						兼1
		競技（器械体操）	2後		1				○						兼1
		武道（剣道）	1前		1				○						兼1
		武道（柔道）	1後		1				○						兼1
		武道（なぎなた）	2後		1				○						兼1 隔年開講
		球技A（バレーボール）	1前		1				○						兼1
		球技A（ハンドボール）	1前		1				○	1					
		球技A（バスケットボール）	1後		1				○		1				
		球技A（サッカー）	2後		1				○						兼1
		球技A（ラグビー）	2後		1				○						兼1 隔年開講
		球技B（テニス）	2前		1				○						兼1
		球技B（卓球）	2前		1				○						兼1
		球技B（バドミントン）	2前		1				○						兼1
		陸上競技方法学実習	3前		1				○						兼1
		器械体操方法学実習	3前		1				○						兼1
		バレーボール方法学実習	3前		1				○						兼1
		サッカー方法学実習	3前		1				○						兼1

教育課程等の概要（事前伺い）																	
（教育学部 生涯スポーツ芸術課程）																	
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手			
ス ポ ー ツ 科 学 コ ー ス	専 門 科 目	柔道方法学実習	3前		1				○						兼1	隔年開講	
		バスケットボール方法学実習	3前		1				○						兼1		
		ラグビー方法学実習	3後		1				○						兼1		
		ハンドボール方法学実習	3後		1				○	1						兼1	
		剣道方法学実習	3後		1				○								
		舞踊方法学実習	3後		1				○	1							
		スポーツ哲学	1前	2				○								兼1	兼1
		運動科学概論	1前	2				○			1						
		生理学・運動生理学	1後	2				○								兼1	
		解剖学	1後	2				○								兼1	兼1
		健康体力科学総論	2前	2				○			1						
		スポーツ方法論Ⅰ	2前	2				○								兼1	
		スポーツ心理学Ⅰ	2後	2				○								兼1	兼1
		発育発達論	2後	2				○			1						
		スポーツ社会学	3前	2				○								兼1	
		スポーツ栄養学Ⅰ	3前	2				○			1						兼1
		救急看護実習	3前	1						○						兼1	
		ダンス	1後		1					○	1						
		スポーツ文化史	1後		2			○								兼1	兼1
		スポーツマネジメント概論	1後		2			○								兼1	
		野外活動	2前		1					○						兼2	
		学校保健Ⅰ	2前		2			○								兼1	兼1
		バイオメカニクス	2後		2			○								兼1	
		衛生学	3前		2			○			1						
		学校保健Ⅱ	3前		2			○								兼1	兼1
		運動処方論	3前		2			○			1					兼2	
		公衆衛生学	3後		2			○								兼1	
		体育・スポーツ科学研究A	4前		1				○		2	1				兼5	兼5
		体育・スポーツ科学研究B	4後		1				○		2	1				兼5	
		健康科学研究A	4前		1				○		1					兼2	
		健康科学研究B	4後		1				○		1					兼2	兼1
		テーピング・マッサージ概論	1後		2			○								兼1	
		コーチ論	2前		2			○				1					
		スポーツ医学	2後		2			○								兼1	兼1
		スポーツ方法論Ⅱ	3前		2			○								兼1	
		トレーニング論	3前		2			○			1						
		スポーツ生理学	3後		2			○								兼1	兼1
		トレーニング実習	3後		2					○						兼1	
		スポーツコーチング実習	3前後		2					○	1	1					
		陸上競技コーチング論	4前		2				○							兼1	隔年開講
		器械体操コーチング論	3前		2				○							兼1	
		バスケットボールコーチング論	4前		2				○			1					
		ハンドボールコーチング論	4前		2				○		1						兼1
		バレーボールコーチング論	4前		2				○							兼1	
		サッカーコーチング論	4前		2				○			1					
		ラグビーコーチング論	3前		2				○							兼1	隔年開講
柔道コーチング論	3前		2				○							兼1			
剣道コーチング論	4前		2				○							兼1			
舞踊コーチング論	3前		2				○		1						隔年開講		
生涯スポーツ論	2前		2				○							兼1			
スポーツ産業論	2前		2				○							兼1			
スポーツ行政学	2前		2				○							兼1	兼1		
地域スポーツ論	2後		2				○							兼1			
レクリエーションスポーツ	3前		2					○						兼1			
スポーツマネジメント各論	3前		2				○							兼1	兼1		
リハビリテーション概論	3後		2				○							兼1			
スポーツ心理学Ⅱ	4前		2				○							兼1			
スポーツ栄養学Ⅱ	4前		2				○		1						兼1		
スポーツマネジメント実習	3後・4前		2					○		1							
生涯スポーツ各論	3前		2				○							兼1			
小計（78科目）		—	21	104	0	—			3	1				兼31	—		
合計（78科目）		—	21	104	0	—			3	1				兼31	—		

教育課程等の概要（事前伺い）															
（教育学部 生涯スポーツ芸術課程）															
教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学位又は称号		学士(音楽)、学士(芸術)、学士(スポーツ科学)		学位又は学科の分野			教育学関係								